

報道関係 各位

名古屋市立大学病院統括部

主幹 住田 武士（電話：052-853-8545）

名古屋市健康福祉局生活福祉部

主幹 黒坂 貴光（電話：052-972-2596）

名古屋市総務局市立大学部市立大学室

室長 田中 雅隆（電話：052-972-2192）

（名古屋教育医療記者会・名古屋市政記者クラブと同時発表）



名古屋市厚生院附属病院が、名古屋市立大学医学部附属みらい こうせい 光生病院に名称を変更するにあたり、ロゴマークを広く募集します

名古屋市厚生院附属病院は、令和5年4月に名古屋市立大学医学部の附属病院として、「名古屋市立大学医学部附属みらい^{こうせい}光生病院」に生まれ変わります。そこで、このことを広く周知し、これまで以上に地域の皆様に親しまれる病院としていくために、下記のとおりロゴマークを広く募集することとなりましたので、周知くださいますようお願いいたします。

<理念>

「健康寿命日本一の名古屋」を目指す医療を地域と連携して提供するとともに、百寿社会に資する先端研究を行い、優れた医療人を育成します

<基本方針>

- 横断的な診療を担うセンター機能の提供による先駆的な医療を提供します（別紙参照）
- 自立・自活や生活の質(QOL)の向上に向けて、心身機能回復・維持を目指した医療を提供します
- 地域包括ケアの拠点として臨床・イノベーションを推進します
- 高い専門性と倫理観を持ち、医療・介護を支える優れた人材を育成します
- 健康長寿に資する臨床研究とデータサイエンスに取り組みます

記

1 募集内容

理念・基本方針を踏まえ、新しくなる「名古屋市立大学医学部附属みらい^{こうせい}光生病院」をイメージしたロゴマークを募集します。（採用作品（1点）には賞金5万円）

2 応募資格

名古屋市在住の方、名古屋市内に通勤・通学される方及び本学関係者（名古屋市立大学の在学生、教職員・元教職員、名古屋市立大学の卒業生及び名古屋市立大学大学院の修了生）

※個人応募、グループ応募いずれも可能。応募は1人につき1点。個人とグループで重複は不可。

3 募集締切

12月23日（金曜日）まで（消印有効）

※応募方法等の詳細は、名古屋市立大学ウェブサイト「ロゴマーク公募」のページを参照。

<https://www.nagoya-cu.ac.jp/affiliate/hospital/miraikousei>

【問合せ先】担当：名古屋市立大学厚生院附属病院大学病院化準備担当 電話：052-853-8545

名古屋市立大学医学部附属みらい^{こうせい}光生病院の特色について

関連する診療科が連携して横断的に診療を行う以下の体制（センター方式）について、現在検討を進めております。

| センター名(仮称) | 内容(診療科) |
|-------------------|---|
| 脳神経医療センター | 脳や脊髄などに関する様々な症状に対して、原因疾患を特定します。 特に、認知症は、進行速度などに応じて治療を行います。 (脳神経内科、リハビリテーション科、放射線科) |
| 先進リハビリセンター | 今までは回復が困難であった機能障害に対して、先駆的なリハビリテーションを行います。 (リハビリテーション科、脳神経内科、整形外科、放射線科) |
| 内臓機能回復センター | 心臓、肺、消化管、血管、血液、腎、排尿に関する様々な疾患に対して、治療やリハビリテーションなどを行います。 (循環器内科、消化器内科、呼吸器内科、血液内科、 リハビリテーション科、腎臓内科、泌尿器科、放射線科) |
| 身体機能回復センター | 生活環境病、ロコモティブシンドロームなどの疾患予防及び機能評価、包括的指導などを行います。 (整形外科、リハビリテーション科、放射線科) |
| 感覚器機能回復・低下予防センター | 聴覚・視覚などの早期発見及び治療を行います。また、摂食嚥下障害に対して、検査や嚥下リハビリテーションを行います。 (耳鼻いんこう科、リハビリテーション科、眼科、皮膚科、 歯科口腔外科、放射線科) |
| 脱メタボ生活環境病リハビリセンター | やせ、肥満症、サルコペニア、そしてこれらと密接な関係にある糖尿病などの代謝疾患の寛解や管理を行います。 (内分泌・糖尿病内科、リハビリテーション科) |
| アンチエイジングケアセンター | 若々しさを保つ目・耳・皮膚などの感覚器のアンチエイジングケアを行います。 (皮膚科、眼科、耳鼻いんこう科、歯科口腔外科) |